

Ⅲ- i 調査結果【市町担当課調査】

1 外国人住民の状況

問1 貴市町における外国人住民の状況について教えてください。(令和元年6月30日現在)

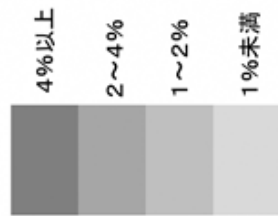
<総人口・外国人比率と在留資格・国籍上位3種>

	総人口 (人)	外国人 人口 (人)	外国人 比率 (%)	国籍上位3カ国			在留資格上位3種		
				1位	2位	3位	1位	2位	3位
下田市	21,414	210	1.0%	フィリピン	韓国・朝鮮	中国	永住者	技術・人文知識・国際業務	特別永住者
東伊豆町	12,155	188	1.5%	中国	台湾	ベトナム	技術・人文知識・国際業務	特定活動	技能実習
河津町	7,209	51	0.7%	台湾	中国	ベトナム	永住者	技能実習	技術・人文知識・国際業務
南伊豆町	8,231	35	0.4%	タイ	韓国・朝鮮	その他	永住者	日本人の配偶者等	特別永住者
横崎町	8,572	28	0.4%	中国	インドネシア	フィリピン	永住者	技能実習	日本人の配偶者等
西伊豆町	7,799	97	1.2%	中国	フィリピン	台湾	技能実習	日本人の配偶者等	特定活動
熱海市	36,838	619	1.7%	中国	韓国・朝鮮	ネパール	永住者	技術・人文知識・国際業務	留学
伊東市	68,770	607	0.9%	フィリピン	中国	韓国・朝鮮	永住者	日本人の配偶者等	技能実習
沼津市	194,987	4,382	2.2%	フィリピン	中国	ベトナム	永住者	技能実習	定住者
三島市	109,895	1,370	1.2%	中国	フィリピン	韓国・朝鮮	永住者	技能実習	定住者
裾野市	50,884	738	1.5%	フィリピン	ブラジル	中国	永住者	技能実習	定住者
伊豆市	30,636	262	0.9%	中国	フィリピン	インドネシア	永住者	技術・人文知識・国際業務	技能実習
伊豆の国市	48,579	611	1.3%	ベトナム	フィリピン	中国	永住者	技能実習	技術・人文知識・国際業務
函南町	37,689	361	1.0%	ベトナム	フィリピン	中国	技能実習	永住者	技術・人文知識・国際業務
清水町	32,447	1,209	3.7%	フィリピン	ブラジル	ベトナム	永住者	定住者	技能実習
長泉町	43,508	420	1.0%	中国	韓国・朝鮮	ベトナム	永住者	技能実習	日本人の配偶者等
御殿場市	88,370	2,260	2.6%	フィリピン	ブラジル	中国	永住者	定住者	技術・人文知識・国際業務
小山町	18,458	201	1.1%	ブラジル	ベトナム	ペルー	永住者	技能実習	日本人の配偶者等
富士宮市	132,507	2,314	1.7%	ベトナム	ブラジル	中国	永住者	技能実習	留学
富士市	263,404	5,638	2.2%	ブラジル	フィリピン	ベトナム	永住者	技能実習	定住者
静岡市	700,187	10,385	1.5%	中国	フィリピン	ベトナム	永住者	留学	特別永住者
島田市	98,492	1,347	1.4%	フィリピン	中国	ベトナム	永住者	技能実習	定住者
焼津市	139,473	4,249	3.0%	フィリピン	ブラジル	ベトナム	定住者	永住者	技能実習
藤枝市	144,989	1,691	1.2%	フィリピン	中国	ブラジル	永住者	技能実習	定住者
牧之原市	45,863	2,106	4.6%	ブラジル	フィリピン	ベトナム	定住者	永住者	技能実習
吉田町	29,594	1,557	5.3%	フィリピン	ブラジル	ベトナム	技能実習	永住者	定住者
川根本町	8,781	90	1.3%	中国	フィリピン	ベトナム	技能実習	永住者	定住者
磐田市	169,897	8,071	4.8%	ブラジル	フィリピン	ベトナム	永住者	定住者	技能実習
掛川市	118,023	4,581	3.9%	ブラジル	フィリピン	中国	永住者	定住者	技能実習
森井市	88,327	4,483	5.1%	ブラジル	ベトナム	中国	永住者	定住者	技能実習
湖西市	59,770	3,227	5.4%	ブラジル	ペルー	ベトナム	永住者	定住者	技能実習
御前崎市	32,425	1,053	3.2%	フィリピン	ブラジル	ベトナム	永住者	定住者	技能実習
菊川市	48,470	3,548	7.3%	ブラジル	フィリピン	中国	永住者	定住者	技能実習
森町	17,943	378	2.1%	ベトナム	ブラジル	中国	技能実習	永住者	定住者
合計	2,910,544	68,345	2.3%						

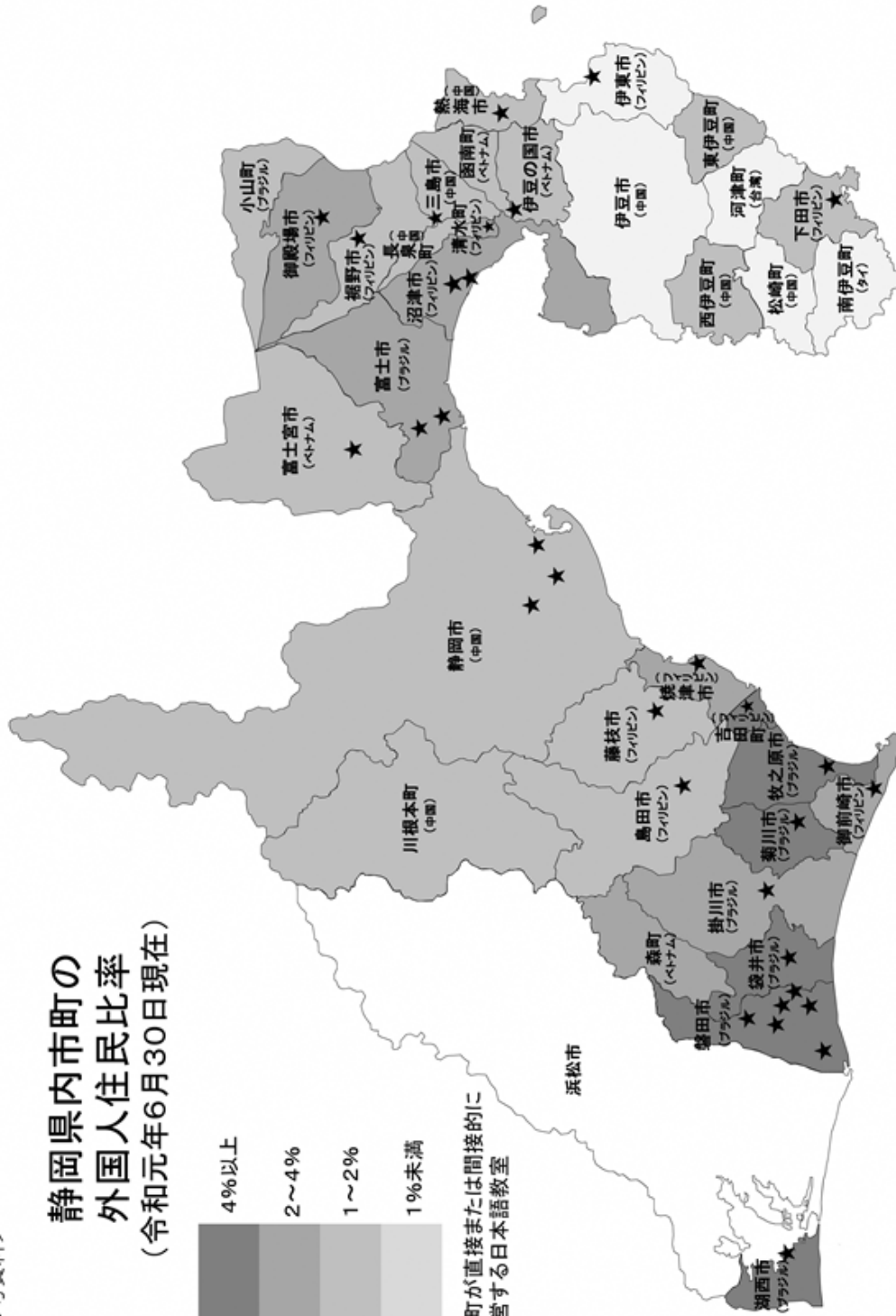
(資料：住民基本台帳)

< 参考資料 >

静岡県内市町の 外国人住民比率 (令和元年6月30日現在)

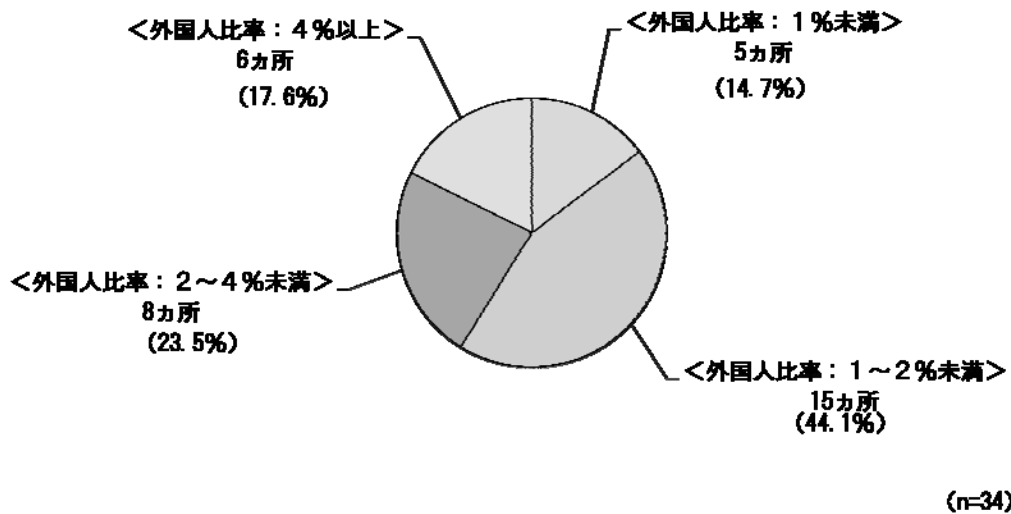


★市町が直接または間接的に
運営する日本語教室



※浜松市は本調査の対象外となるため、概況を記載していない
※各市町名下部の（ ）は在住の外国人のうち最も多い国籍を記載している

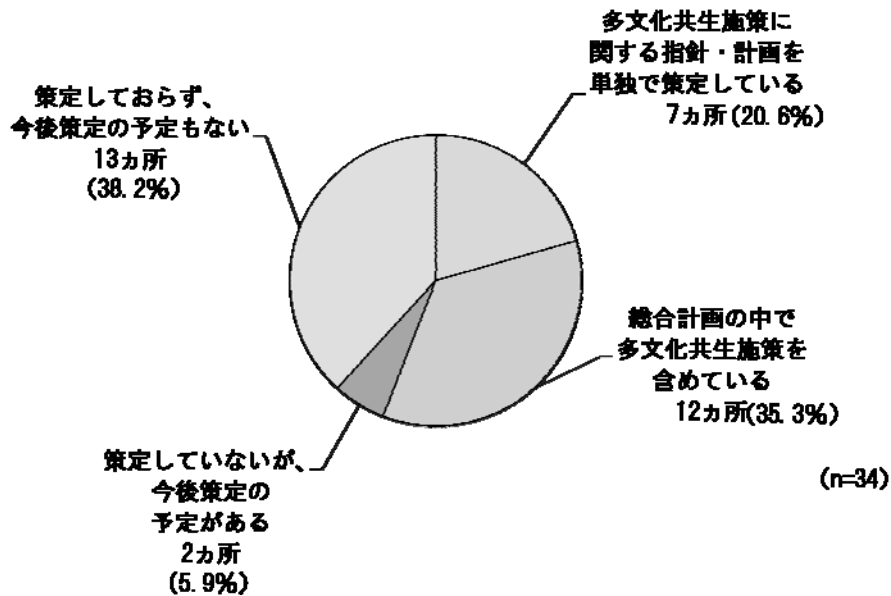
<外国人比率>



外国人住民の状況においては、外国人比率では、「1～2%未満」が15カ所（44.1%）と最も多く、次いで「2～4%未満」が8カ所（23.5%）、「4%以上」が6カ所（17.6%）などとなっています。各市町の状況をみると、外国人比率が最も高いのは菊川市で7.3%となっています。

2 多文化共生施策に関する指針・計画等の策定状況

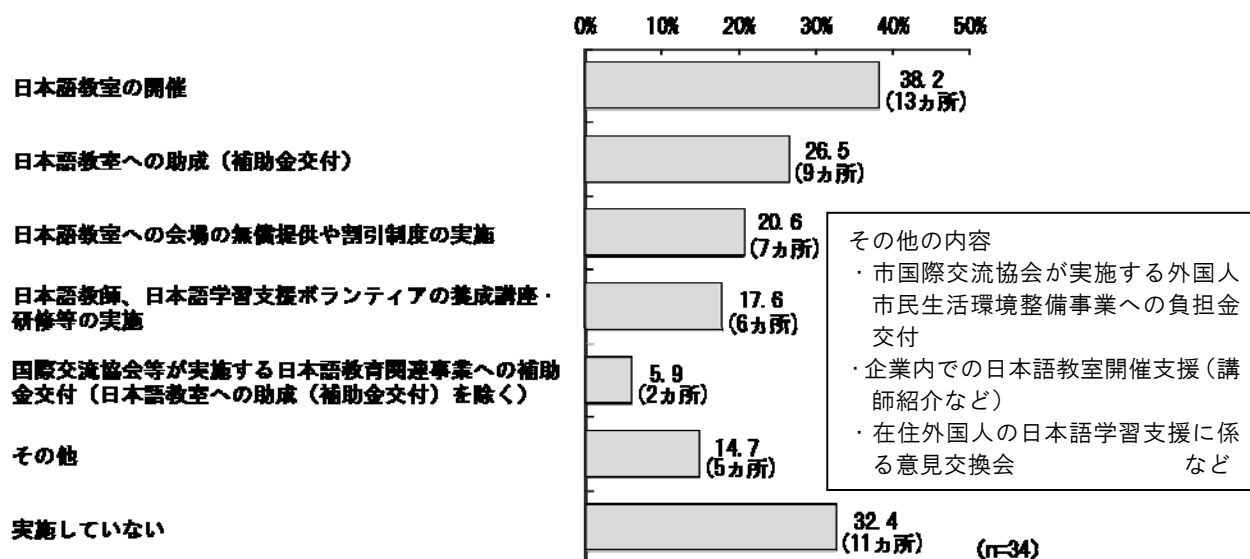
問2 貴市町には多文化共生施策に関する指針・計画等がありますか。



多文化共生施策に関する指針・計画等の有無においては、「策定しておらず、今後策定の予定もない」が13カ所（38.2%）と最も多く、次いで「総合計画の中で多文化共生施策を含めている」が12カ所（35.3%）、「多文化共生施策に関する指針・計画を単独で策定している」のは7カ所（20.6%）です。

3 日本語教育に関して実施している事業

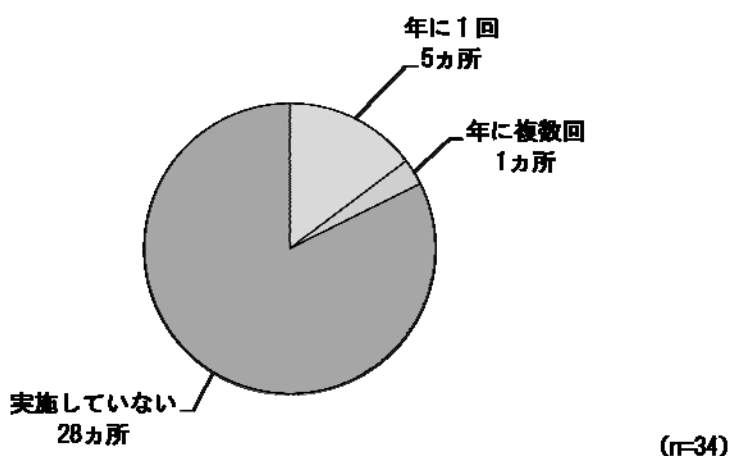
問3 貴市町では2019年度に、日本語教育に関しどのような事業（市町教育委員会により学校教育課程内で実施される児童生徒向けの事業は除く）を実施（予定を含む）しますか。
（あてはまる番号全てに○）



日本語教育に関して実施している事業においては、「日本語教室の開催」が13カ所（38.2%）と最も多く、次いで「日本語教室への助成（補助金交付）」が9カ所（26.5%）となっています。また、「実施していない」が11カ所（32.4%）となっています。日本語教室を開催している13カ所のうち、「市町」が直接実施しているのが5カ所となっています。また、日本語教室を助成している9カ所の助成先は8カ所が「市町が所管する国際交流会」、1市町が「その他の団体」となっています。

日本語教師、日本語学習支援ボランティアの養成講座・研修等の実施

<開催回数>



養成講座・研修等の開催回数では、「年に1回」が5カ所、「年に複数回」が1カ所、「実施していない」が28カ所となっています。養成講座・研修等の受講料では、「無料」が4カ所、「有料」が2カ所となっています。

4 日本語教師、日本語学習支援ボランティアの養成講座・研修等の内容と課題

<内容（抜粋）>

- ・ 多文化共生ボランティア全体に対し研修会を開催
- ・ 多文化共生の啓発、日本語の教授方法、日本語サロンの体験など
- ・ 日本語学習を支援するボランティアに対する心構えや、やさしい日本語でのコミュニケーション法など
- ・ 日本語ボランティア養成講座の開催
- ・ 日本語を教えるときの心構え、ボランティアの意義

<講座を実施するにあたっての課題（抜粋）>

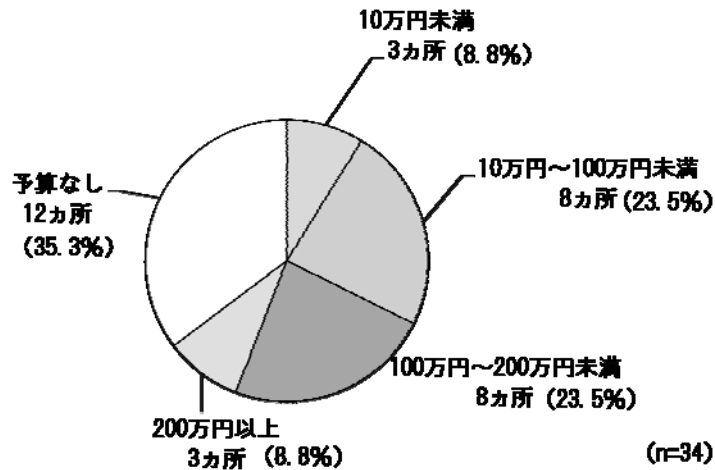
- ・ 日本語支援ボランティアのみでなく、全体を対象とした研修のため、内容が広く浅くなってしまう。研修テーマ及び研修実施方法の選択が課題
- ・ 新規参加者の募集
- ・ 担い手不足
- ・ 周知及び参加者の募集

5 日本語教育関連事業の予算・財源

問4 貴市町における日本語教育に関する事業（学校教育課程外）の予算・財源について教えてください。

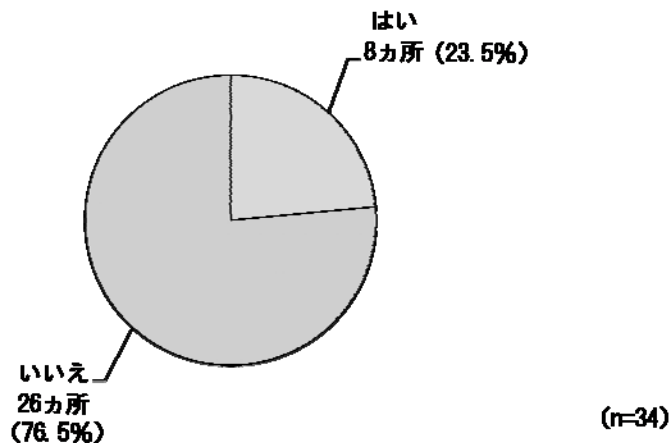
(1) 2019年度の日本語教育に関する事業別、財源別の予算額を教えてください。

<全体予算>



全体の予算状況においては、「予算なし」が12カ所（35.3%）となっています。

(2) 入管法の改正（H31.4）や日本語教育推進法の施行（R1.6）を受け、今後、日本語教育に関する事業の予算の増額・新規を検討していますか。（○はひとつ）



事業の予算の増額・新規検討の有無では、「はい」が8カ所（23.5%）、「いいえ」が26カ所（76.5%）となっています。

6 日本語教育コーディネーターの配置状況

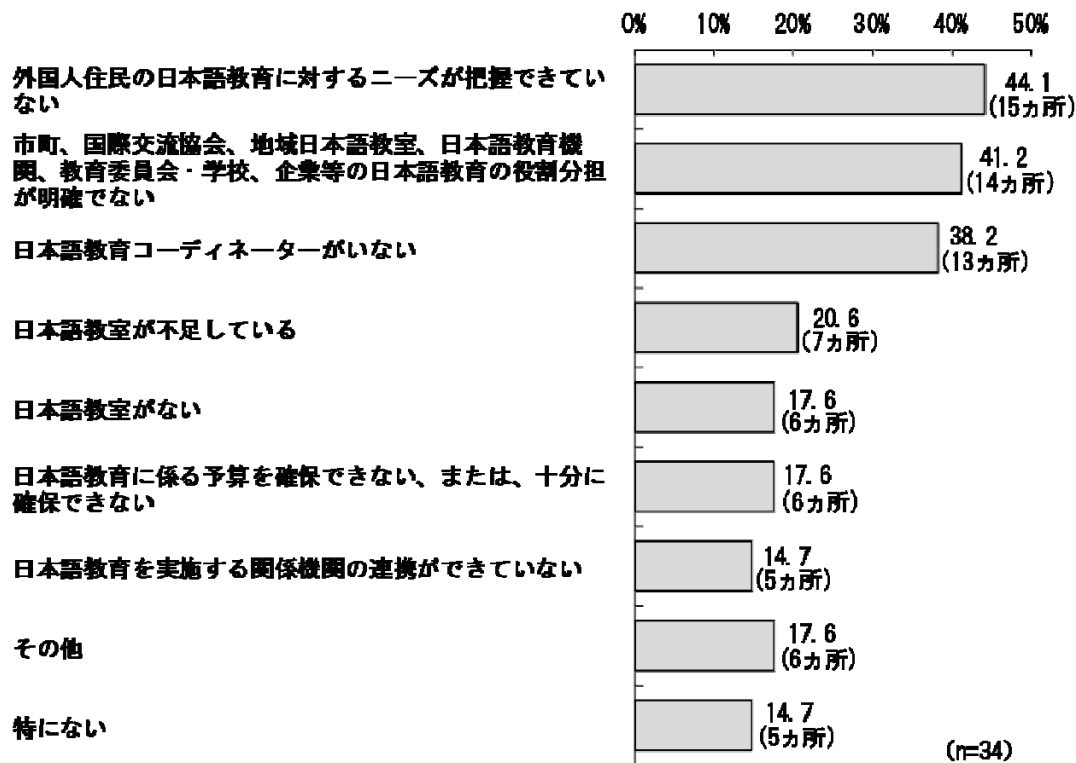
問5 貴市町には日本語教育コーディネーター、もしくはそのような業務を担当されている方はいますか。(〇はひとつ)

	日本語教育コーディネーターがいる	類似業務を担当している者がいる	いない
市町 (n=34)	1カ所 (2.9%)	2カ所 (5.9%)	31カ所 (91.2%)
市町国際交流協会 (n=32)	1カ所 (3.8%)	4カ所 (15.4%)	19カ所 (73.1%)
市町・市町国際交流協会 いずれかの配置状況	7カ所		27カ所

市町国際交流協会の調査結果を踏まえると、各市町において市町担当課または市町国際交流協会のいずれかで日本語教育コーディネーター及び類似業務担当者がいるのは7カ所となっています。

7 市町における日本語教育の問題点・課題

問6 貴市町における日本語教育の問題点・課題にはどのようなものがあると認識されていますか。(あてはまる番号全てに○)



* グラフ内の選択肢「日本語教育コーディネーターがない」は、()内を省略して表示しています。

「日本語教育コーディネーターがない(日本語教育について施策立案できる人材がないため、日本語教室の運営方法や日本語学習プログラムの作成方法等が分からない)」

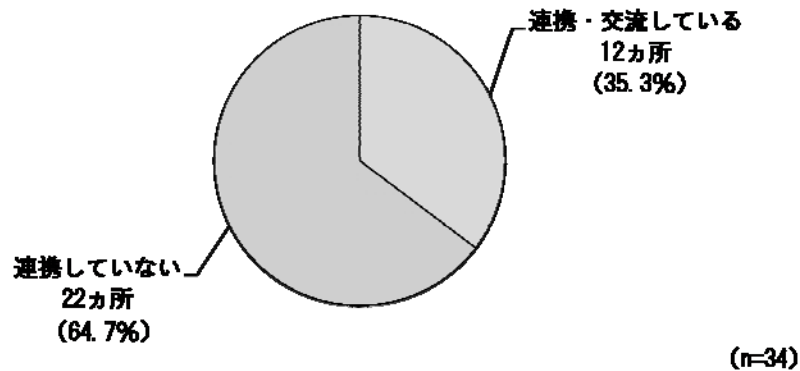
その他の内容

- ・ 在住外国人が日本語学習の重要性を感じていない、または、仕事が忙しく、日本語教室に通う時間がない
- ・ 技能実習生に理解がない企業もある。管理組合との役割分担が明確でない。義務教育の対応が十分でない
- ・ 人材育成・人員確保 など

市町における日本語教育の問題点・課題においては、「外国人住民の日本語教育に対するニーズが把握できていない」が44.1%と最も多く、次いで「市町、国際交流協会、地域日本語教室、日本語教育機関、教育委員会・学校、企業等の日本語教育の役割分担が明確でない」が41.2%、「日本語教育コーディネーターがない(日本語教育について施策立案できる人材がないため、日本語教室の運営方法や日本語学習プログラムの作成方法等が分からない)」が38.2%などとなっています。

8 他の団体との連携、交流状況

問7 日本語教育に関して他の団体（県、市町、国際交流協会、企業、大学、NPO、日本語教室等）と連携、交流を行なっていますか。

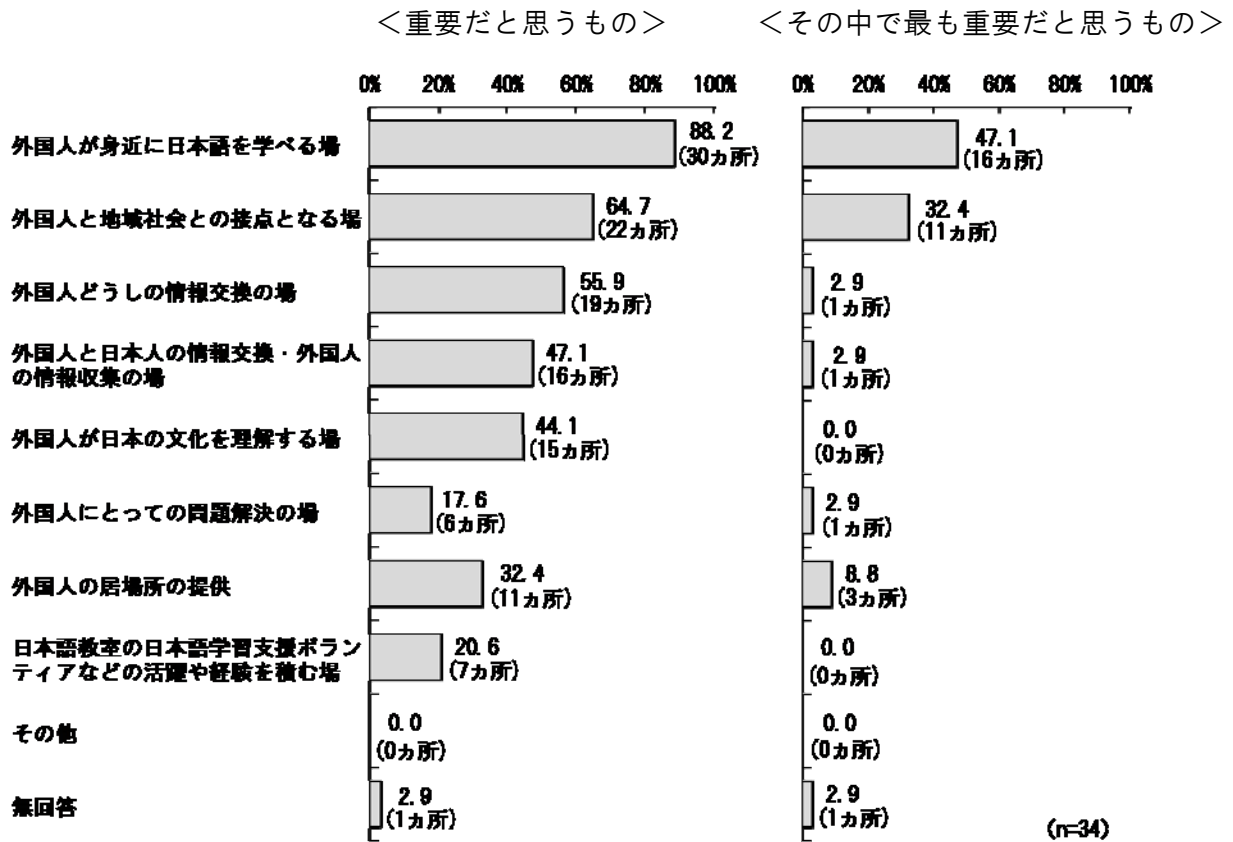


連携・交流先		連携・交流内容	
国際交流協会	12カ所	日本語教室の開催業務の委託	4カ所
NPO・ボランティア団体等	1カ所	日本語ボランティア養成講座	2カ所
大学・教育機関	1カ所	情報共有	1カ所
		広報活動への協力	1カ所
		日本語教室等の活動支援	1カ所
		日本語教室開催	1カ所
		負担金の交付	1カ所
		意見交換会	1カ所

他の団体との連携、交流の有無においては、12カ所（35.3%）で、「連携・交流している」と回答しており、その全てで国際交流協会と連携・交流しています。

9 地域日本語教室の役割で重要なもの

問8 地域日本語教室の役割にはどのようなものがあるとお考えですか。重要だと思うものを4つまで、その中で最も重要だと思うものを1つ選んで、下記の枠に数字で記載してください。

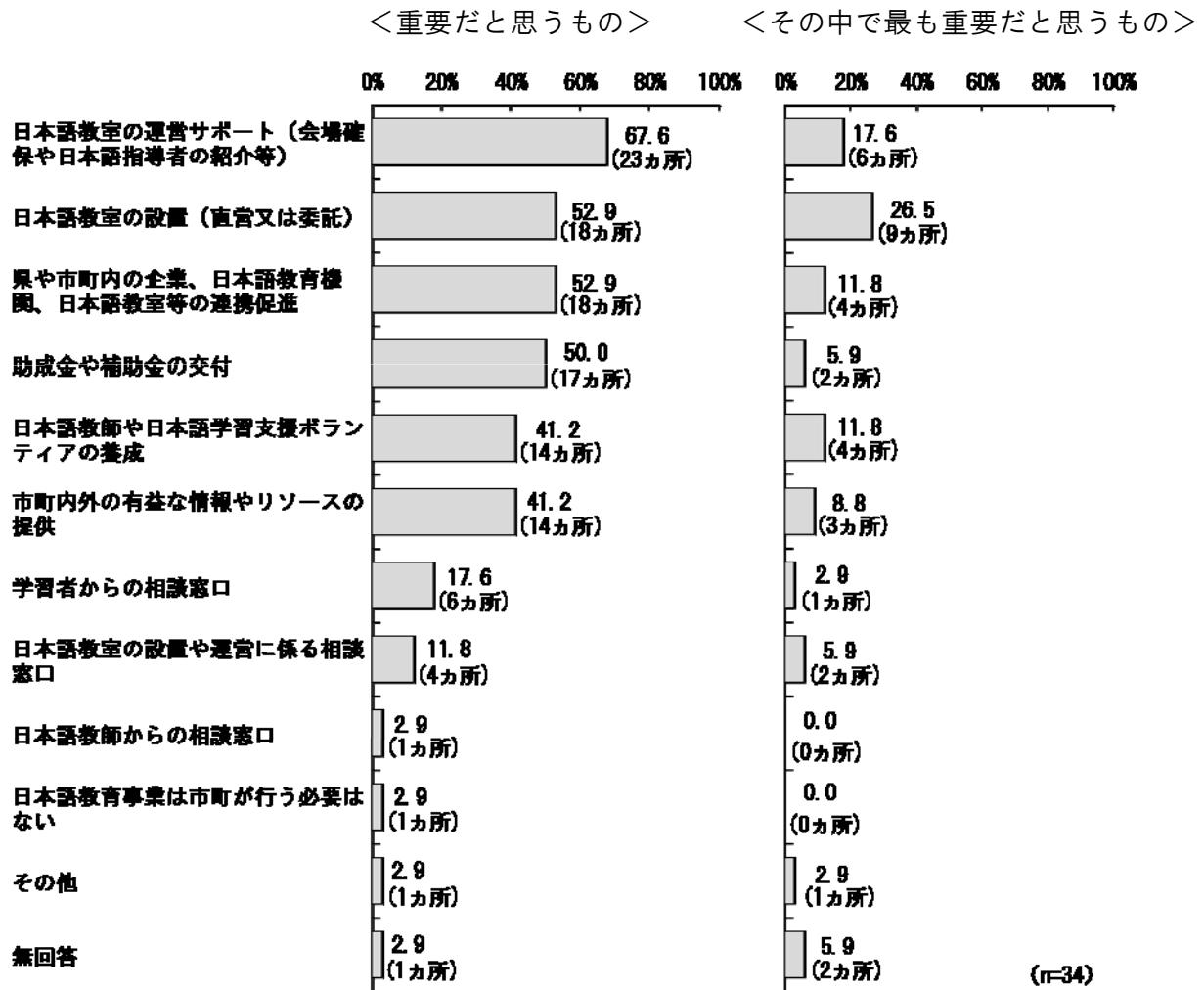


地域日本語教室の役割で重要なものにおいては、重要だと思うものでは、「外国人が身近に日本語を学べる場」が88.2%と最も多く、次いで「外国人と地域社会との接点となる場」が64.7%、「外国人どうしの情報交換の場」が55.9%などとなっています。

その中で最も重要だと思うものでは、「外国人が身近に日本語を学べる場」が16カ所（47.1%）と最も多く、次いで「外国人と地域社会との接点となる場」が11カ所（32.4%）、「外国人の居場所の提供」が3カ所（8.8%）などとなっています。

10 地域の日本語教育における市町の役割で重要なもの

問9 地域の日本語教育における市町の役割にはどのようなものがあると思われますか。重要だと思ふものを4つまで、その中で最も重要だと思ふものを1つ選んで、下記の枠に数字で記載してください。

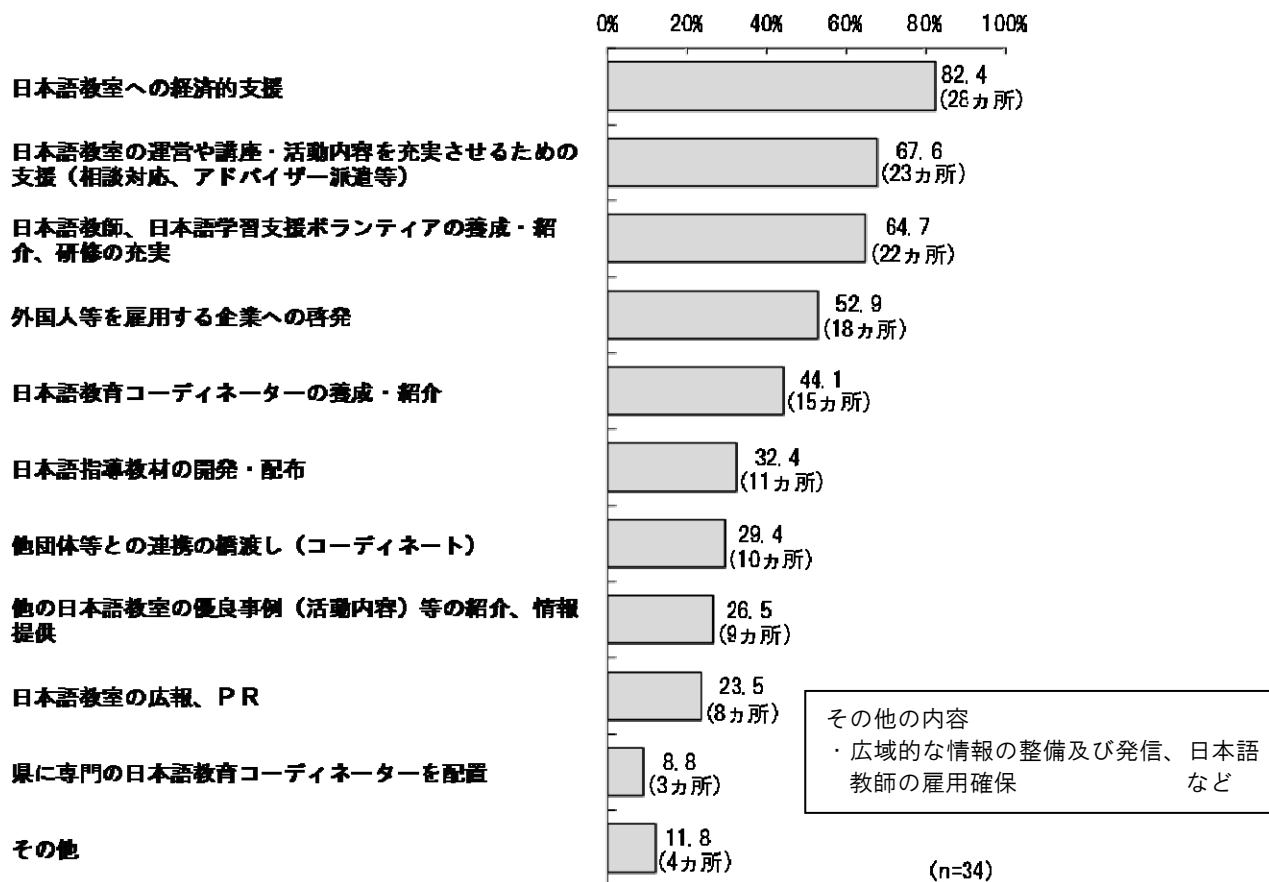


地域の日本語教育における市町の役割で重要なものにおいては、重要だと思ふものでは、「日本語教室の運営サポート（会場確保や日本語指導者の紹介等）」が67.6%と最も多く、次いで「日本語教室の設置（直営又は委託）」と「県や市町内の企業、日本語教育機関、日本語教室等の連携促進」が52.9%などとなっています。

その中で最も重要だと思ふものでは、「日本語教室の設置（直営又は委託）」が9カ所（26.5%）と最も多く、次いで「日本語教室の運営サポート（会場確保や日本語指導者の紹介等）」が6カ所（17.6%）などとなっています。

11 県が実施すべき地域の日本語教育にかかる施策

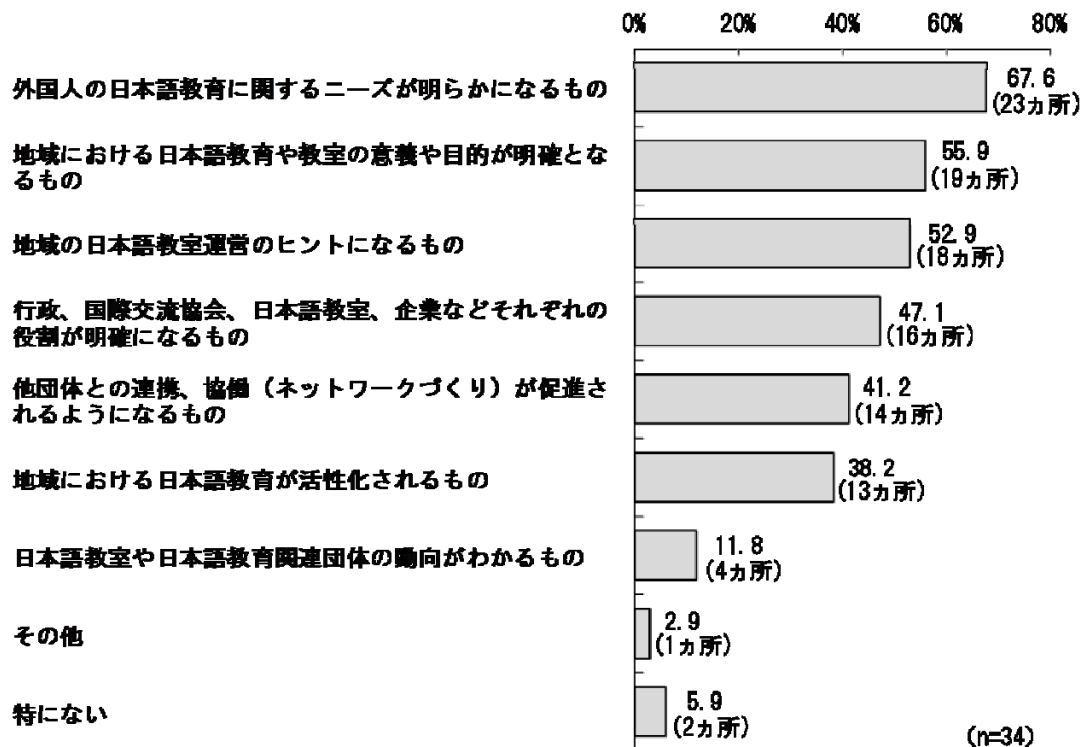
問10 今後、県は地域の日本語教育にかかるどのような施策を実施すべきだと思いますか。
(あてはまる番号全てに○)



県が実施すべき地域の日本語教育にかかる施策においては、「日本語教室への経済的支援」が82.4%と最も多く、次いで「日本語教室の運営や講座・活動内容を充実させるための支援(相談対応、アドバイザー派遣等)」が67.6%、「日本語教師、日本語学習支援ボランティアの養成・紹介、研修の充実」が64.7%などとなっています。

12 静岡県における日本語教育の方針・計画策定に期待すること

問11 静岡県における日本語教育の方針・計画策定に期待することは何ですか。
 (あてはまる番号全てに○)



静岡県における日本語教育の方針・計画策定に期待することにおいては、「外国人の日本語教育に関するニーズが明らかになるもの」が67.6%と最も多く、次いで「地域における日本語教育や教室の意義や目的が明確となるもの」が55.9%、「地域の日本語教室運営のヒントになるもの」が52.9%などとなっています。